

水稲は種前（床土混和）・は種時処理専用殺菌剤

ファーストオリゼ[®] 箱粒剤

プロベナゾール…………… 20.0%
鉍物質微粉等…………… 80.0%

農林水産省登録 第 22543 号

毒性 普通物 有効年限 3年 包装 10kg × 1袋

●特長

1. 「は種前（床土混和）」または「は種時」処理により水稲の主要病害であるいもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病を防除できます。
2. 「は種前（床土混和）」または「は種時」処理で長期間にわたって高い効果を示すので、省力的、経済的です。

●適用病害および使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の 床土に均一に 混和する	2回以内 (移植時までの処理は 1回以内)
	白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時 (覆土前)		育苗箱の 床土に均一に 散布する	

(平成28年7月6日現在の登録内容)

●効果・薬害等の注意

●本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守する。

- ①山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用する。
- ②粒剤を混和した床土は高温多湿での保管をさげ、すみやかに使用する。

- ③粒剤が破碎されるような過度な混和はさける。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめる。
 - 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
 - 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意する。
 - 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
 - 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさける。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。